

協議会ニュース

2024(令和6年)6月

令和8年度に開校予定の**(仮称)大楽毛学園の校章**は
「ペガサスの羽をつけた小学校の校章」となります。

■校章アンケートの結果

2024(令和6)年2月28日～4月10日の期間に、大楽毛小学校の児童・保護者・教職員、大楽毛中学校の生徒・保護者・教職員の方を対象としてアンケートを行いました。

結果、142件の回答(新しいデザイン案15件を含む。)をいただきました。多数のご回答ありがとうございました。

このアンケートでは、次の①、②または③から良いと思うものを1つ選んで回答してもらうこととしました。結果は次のとおりです。

①ペガサスの羽をつけた小学校の校章 88件(62%)



②小学校の校章 39件(27%)



③新しいデザイン 15件(11%)

このアンケート結果を踏まえて、6月6日の開校準備協議会で協議が行われた結果、校章は①「ペガサスの羽をつけた小学校の校章」に決まりました。

■学年の区切りは「4－3－2制」に決定

・義務教育学校は小中一貫の9年生の学校で、法令上・学習課程上は、1～6年生が前期課程、7～9年生が後期課程とされています。なお、学年の区切りについては学校毎に決めることができ、次のとおり、1～4年生の4年間、5～7年生の3年間、8～9年生の2年間の3つのステージ(段階)に分けること(4－3－2制)に決まりました。

学習課程	前期課程						後期課程		
学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	7年生	8年生	9年生
ステージ(段階)	ファーストステージ				セカンドステージ			サードステージ	

・制服のデザインについては、学校内でコミュニティ・スクール協議会委員の方々による制服検討委員会を立ち上げて検討します。

・「いつから制服を着るのか」、また「指定ジャージ」については、学年の区切り(4－3－2制)や制服の買換え回数などを説明した上で、保護者・児童生徒の意見を十分に聴きながら最終的に決めることが示されました。

■大楽毛地区義務教育学校開校準備協議会 第4回会議開催

2024(令和6)年2月8日午後6時 30 分より、大楽毛中学校 1 階学習室にて、第4回目の会議が開催されました。

「校章について」、「校舎について」、「教育部会について」が議題となりました。

【(1)校章について】

「大楽毛小学校の校章」「大楽毛小学校と大楽毛中学校を組み合わせた校章」「公募でのデザイン」について、児童生徒・保護者・教職員にアンケートを実施し、その内容を踏まえて次回協議会にて協議することで決定されました。

【(2)校舎について】

事務局から校舎の基本設計(案)が示されました。委員からいただいた意見に対しては、学校と事務局で後日検討が行われました。

【(3)教育部会について】

学校から組織の構成・本協議会の部会としての役割についての説明、教育部会における協議の進捗についての報告・説明が行われました。学年の区切りは「4－3－2」というステージ制を前提として、今後の様々な検討が進められることとなりました。

■大楽毛地区義務教育学校開校準備協議会 第5回会議開催

2024(令和6)年6月6日午後6時 30 分より、大楽毛中学校 1 階学習室にて、第5回目の会議が開催されました。

新たに協議会の委員となった方の紹介の後、「教育部会について」、「制服・ジャージについて」、「通学の安全確保について」、「校章について」が議題となりました。

【(1)教育部会について】

義務教育学校開校に向けた、大楽毛中学校・小学校における小中連携等の取組について報告がありました。

【(2)制服・ジャージについて】

制服検討委員会を立ち上げ、新制服・ジャージをどうしていくか決めていくことの説明があったほか、5年生から指定ジャージ、8年生から制服を着用することについては、ステージ制との整合性や買換えによる経済的負担などを説明し、保護者・児童生徒の意見を十分に聴きながら決めていくことが示されました。

【(3)通学の安全確保について】

新校舎となることにより通学距離が延びる児童がいることなどから、スクールバスの路線と通学路の変更等について、今後の協議のためのたたき台が示されました。

【(4)校章について】

校章のアンケート結果の報告の後、協議が行われ、(仮称)大楽毛学園の校章は、「ペガサスの羽をつけた小学校の校章」に決まりました。

次回協議会は、秋以降の開催を予定していますが、日程は未定です。

<https://www.city.kushiro.lg.jp/kosodatekyouiku/kyouiku/1005512/1005531/1012327.html>

